



日本選手権やジャパンオープン等、中央の大会に競技役員として参加させて頂き四年目になる。当初は緊張や不安を多く感じたが、顔見知りも増え少しずつ雰囲気も味わえるようになってきた。

特に今回はリオの選考会を兼ねていたので、通常とは全く違う雰囲気を感じることができた。

前回ロンドンの選考会には、地元加藤和選手の一応援団として観戦していたが、それとは全く違った経験であった。

七日間という長丁場でありながらモチベーションを崩さず、一点を目指して集中する選手たち。競技役員としてその張りつめた空気の中に立ち入ることができたこと、そして北島選手のラストレースに立ち会い、会場が一体となって彼の背中を強く押し、前へ前へ進ませようとする歴史的な場所にいられたこと。これほどレアな臨場感を体験する

ことはないと思う。

もちろん運営面では、地方の大会も日本選手権も競技役員としてやるべきことは変わらない。選手たちが最高のパフォーマンスが発揮できるように、私たちは一杯の努力をするだけである。揺るぎない信念を持ち誰にでもわかる公正で円滑なジャッジを行う。

先日高校の大会が行われ、シーズンの幕が開けた。日本選手権を福島で」を目指し、これからも自己の意識を高めて研修を積んでいきたいと思う。



県合宿中にサプライズで寺川綾さんが激励に！  
パワーをもらってベスト出そう!!

## 新たな世代へ（ジャパンオープンを通して）

競泳委員長 末永敏則

今年度、新たに大学生となった本県出身の主な選手は、寺田拓未選手（日本体育大学・湯本高卒）、服部翼選手（日本大学・福島成蹊高卒）、加藤樹選手（桐蔭横浜大学・福島成蹊高卒）、安部翔一郎選手（国士舘大学・湯本高卒）です。

その中で、今回のジャパンオープンには、寺田拓未選手と服部翼選手が出場しました。その大会で、寺田拓未選手は200mバタフライにて4位に入る大活躍をいたしました。また、昨年同様、守永隆選手（国士舘大学）は、50m背泳ぎで3位表彰台！大学生の活躍が目立ちました。

また、高校生の安田広佳選手（橘高校・ピュア福島南）も50m背泳ぎで6位入賞しています。徐々に新しい選手も全国で活躍できるようになってきました。今年も、久々に男子大学生のリレーを組みたいとも思っています。  
着実に力をつけて全国で戦っている選手達。これからも引き続き本県強化を図っていききたいと思います。

## 梅雨の晴れ間に華が咲く

7月3日 郡山カルチャーパーク飛込プール

### チャレンジカップ2016 岩手県・宮城県・山形県・福島県予選会

日本水泳連盟から田中洋子審判長をお迎えし、震災以降はじめて本県でのチャレンジカップを開催。山本県中会長をはじめ県中水連の皆さんが会場の準備から進行に協力、無事に大会を開催できました。審判長から温かい目で選手を支えた素晴らしい大会とおほめの言葉を頂きました。



大会前日から支えてくれた宮城水連の伊勢氏(下)と県中水連の優しい紳士達



FS ラペッシュのちびっこ達も補助役員として大活躍



矢部委員長が指導するFS La Peche(ラペッシュ)華麗なる演技





チャレンジカップのためにシנקロ  
選手の父兄らが講習会を受講

この度4月よりご縁をいただき母校に勤務させていただいております。地域の皆様のお力添えのもとで、生徒とともにこうして水泳に携わることができますことを大変光栄に存じます。

さて、今年ハリオデジャネイロオリンピック開催の年であり、また、来年は地元屋内の長水路プールの完成と、胸躍る出来事が続くことが予想され、それらは本当に楽しみです。

今後は、これまで沢山の方々によって支えられてきた水泳を通してさらに多くのことを学び、少しでも盛り上げていくことができるよう、生徒とともにいろいろなことに挑戦していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

県中水連 命長敬史 (郡山第五中学校教員)

### あの子に会える 小学校指導

去年ようやく水に顔がつけれるようになったあの子、一年生の頃はプールに入って立ちすくむだけだったのに…。毎年、彼なりに怖いと思う気持ちから逃げ出さずがんばってくれていると思うと私も彼が少しでも挑戦してみようと思える指導方法を考えなくちゃと思います。

今年もまた学校水泳の季節がやってきます。どんなふうになっているかしら。会えることが楽しみです。

県北水連 M・Y



有名ですね！山口兄弟

兄弟仲よく  
受講しました！



齋藤陽子さんと二瓶さん  
姉弟で県中競技役員担当に



姉妹みたい…?!

### 日水連のルールブック 鈴木浩二委員長 来る

公認競泳審判員及び公認競技役員研修会・養成講習会

5月8日 あづま総合体育館

今年もシーズンを前に競技役員研修会が開かれました。  
(参加者 147 名、養成 39 名) 日本水泳連盟のルールブックそのものと言われている鈴木委員長をお迎えし、興味深いお話を伺うことができました。

昼食をはさみ、午後の「ねむ〜い」時間へ…

DVD で事例を観て「あなたなら、どう判断しますか？」

「○」ですか？「×」ですか？

吉井氏の問いにドキドキ、眠気もさめる研修会でした。



鈴木浩二委員長・吉井智久氏・右



それ「○」？ それ「×」？